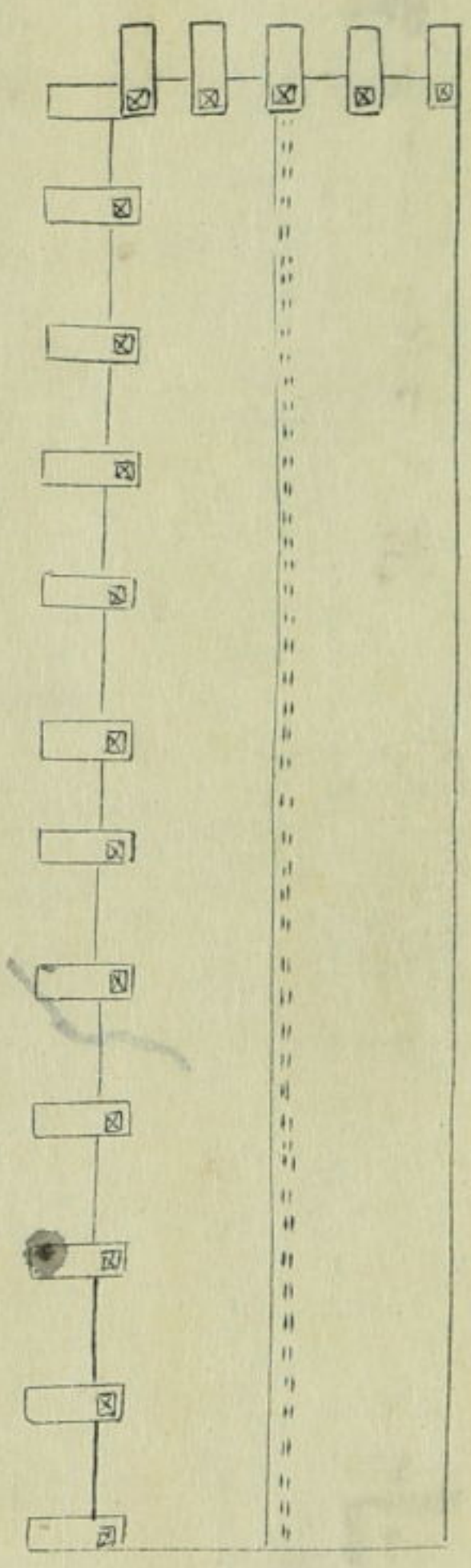


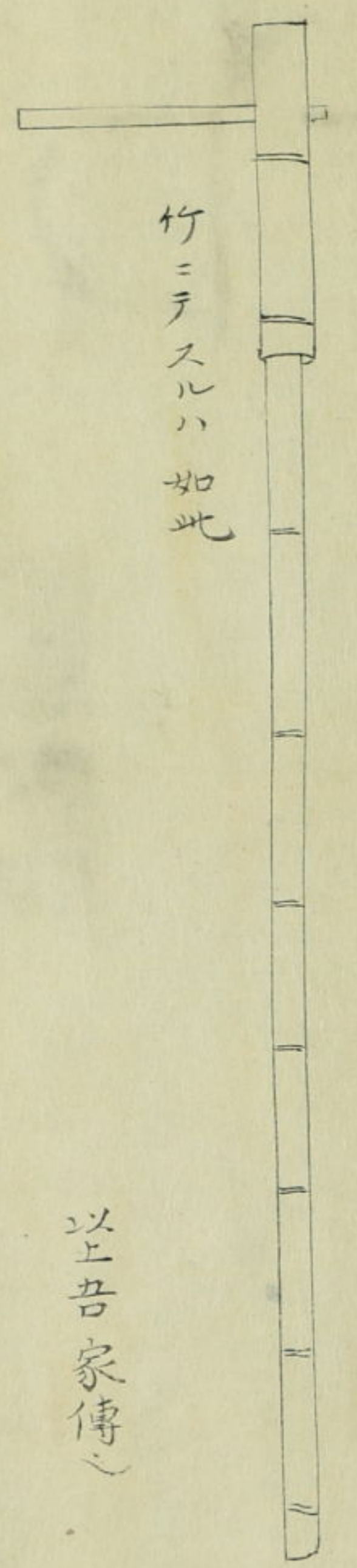
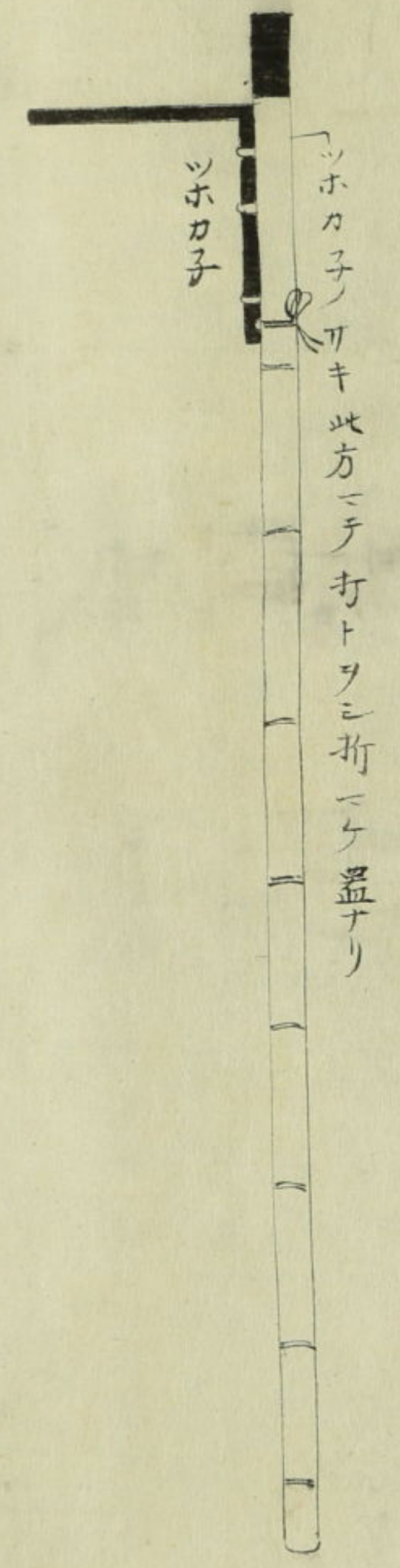


一 乳付旗乃申のりり是は東山教宗代康正二年富山縣
 管政長始て旗乳をなすりり 旗のりり又ハ天
 三尺四寸也 乳敷
 ハ上の横ハツハ折ふくくも 豊ハ十二也 十二月又十二支めくも
 手也乳の折り六寸折す寸ニツ折らば也但長六寸とくも
 ニツ折らば寸折す也のりり一尺二寸也旗へ一寸六分は
 乳の針目ハ 又折らば也 乳を折り六分の乳より折らば
 折すのりり 又乳を折らば折らばハ折らば又折らば
 の類ゆへしとく 縫ハ 如此とくハ字 卍 此心也



靴テモ家ノ紋ニテモ書ニハ一丈ノ旗ハより一尺下ケテ書如ハ三
 一丈二尺ナラハ上ヨリ一尺二寸下ケテ書始ハ三乳ヲ左見テ書
 也紋ハ二付也其子細ハ乳ヲ付カル旗ニ上ノ方ニ紋一ツ付ル本トス
 ル故也

一 乳付旗の竿ハ旗一たけ羊えりりす
 一 上の乳を通ス折らば旗と云ク大ゆい程のちりめしてまかり
 ののちりめしてわい穴をわけて旗を通す也竿右のちりめ
 通りてゆるる程のちりめはわいりりすちりめはわいりりす
 一 下の旗と少ゆい程ちりめしてまかり又竹ハモ高也



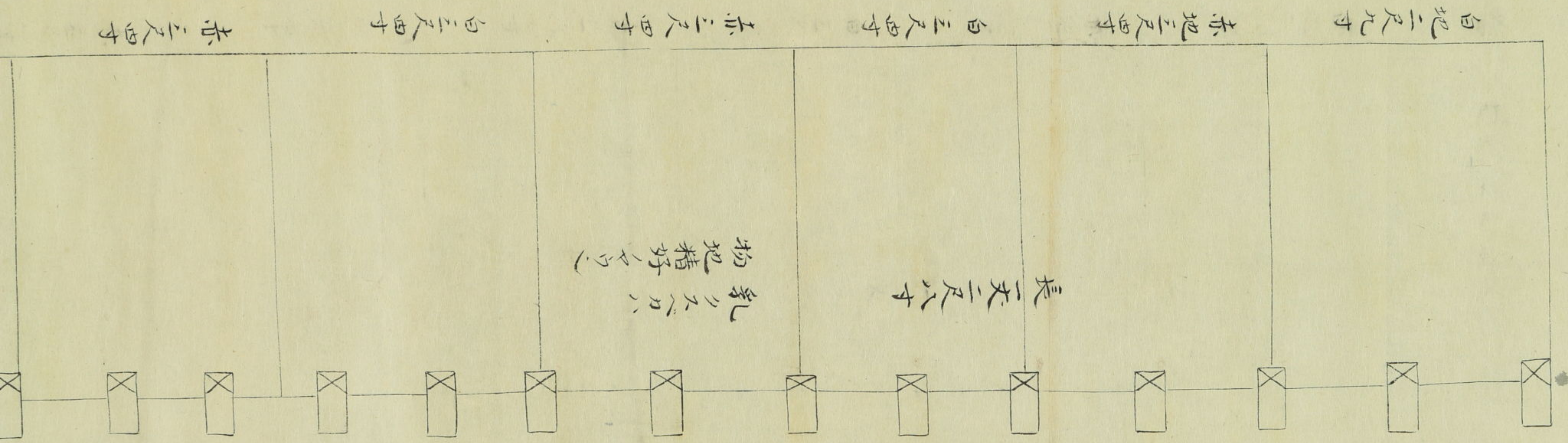
一 乃有りのち長四寸ハ折通して乃りり合て八寸ハニツ折らば
 きて切上のちと折の本も折らば折らばのりり是一説なり

以上吾家傳也



一乃ありのち長四寸ハ折通して乃合て八寸ニ折通して
きて上りのちと竹の本より折通すのあり是一説なり

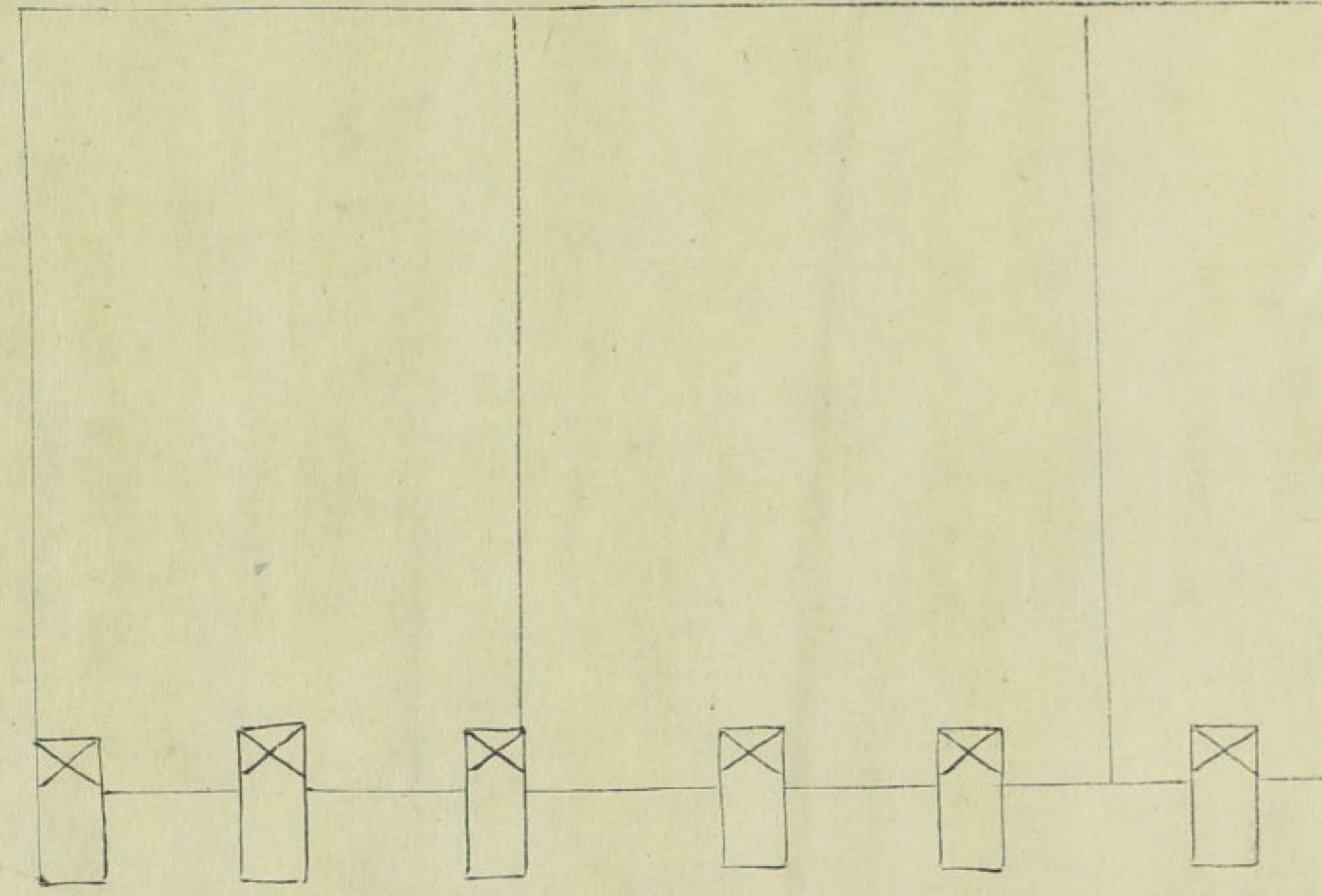
芳野山櫻木坊所藏後醍醐天皇御膳



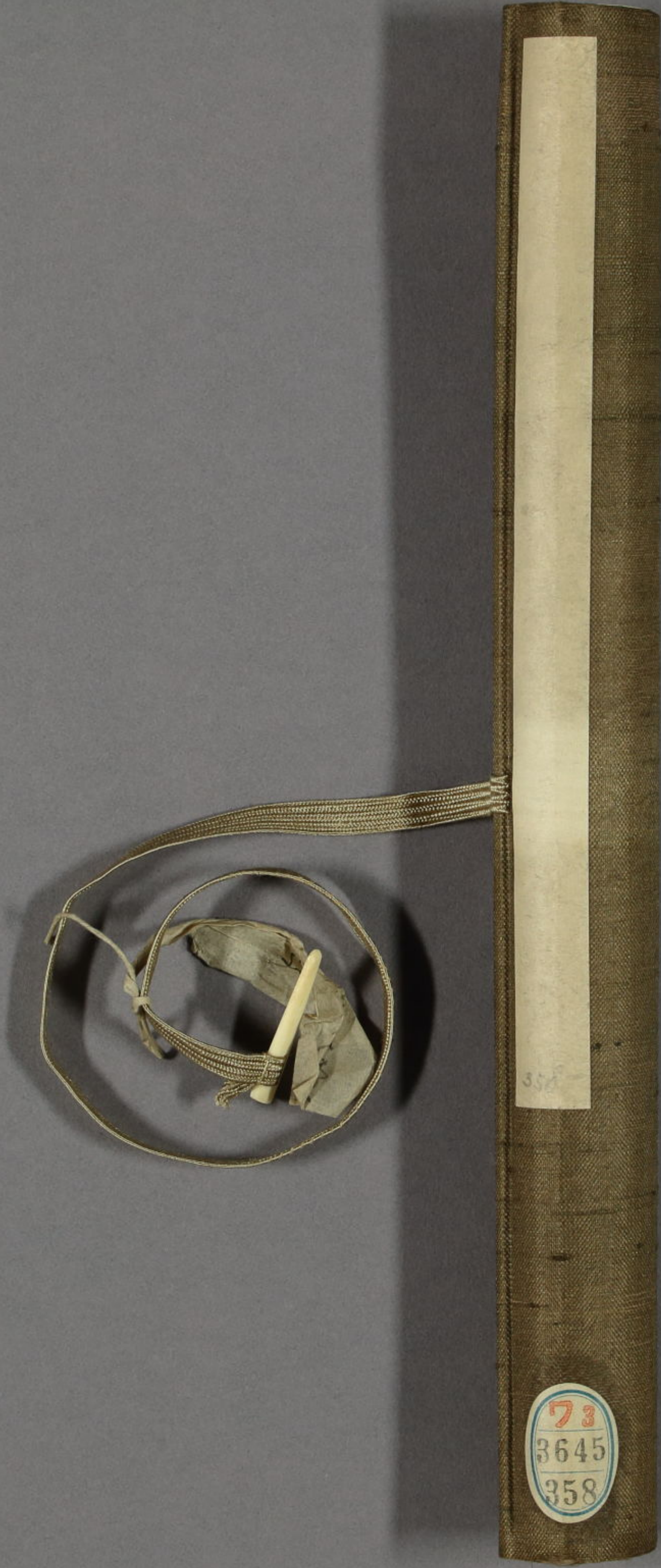
文化九十二十八

白皮

青皮



八幡与一百里亭



173
3645
358


一 乳母旗乃車のりり書是ハ東山教中代康正二年畠山氏

警政長格に授ふ乳をりり書



ハ上の横六ツ入りふりり書 豊六十二也 十二月又十二支めりり書

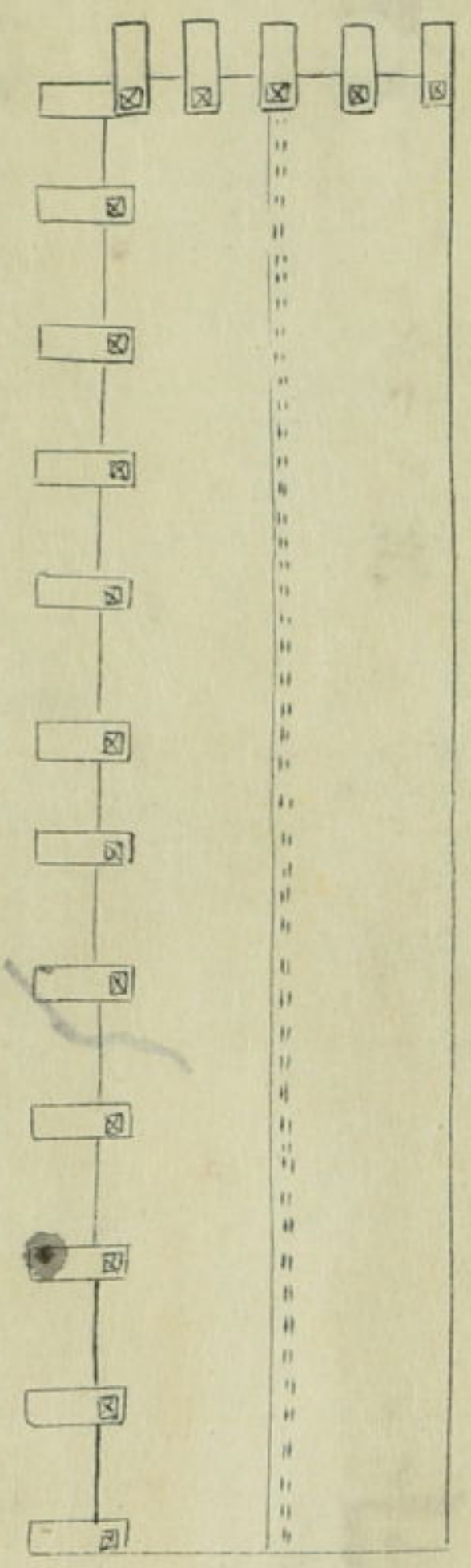
手也乳の書り六寸横三寸ニツ折らけりり書 但長六寸と云

ニツ折らけりり書也のりり書一尺二寸也旗へ一寸六分の色

乳の針目  ぬいぬい也 乳をりり書りり書の乳よりぬいぬい

背のりり書 又乳をりり書りり書りり書ハ布又子と華墨華りり書

の綴りりり書  如此りり書りり書  此心也



鉛テモ家ノ紋ニテモ書ニハ一丈ノ旗ハ上ヨリ一丈下ケテ書如ハ三
一丈二尺ナラハ上ヨリ一尺二寸下ケテ書始ハ三乳ヲ左見テ一書
也紋ハ一付ル也其子細ハ乳ヲ付ケル旗ニ上ノ方ニ紋一ツ付ル本トス
ル故也



358

73
3645
358

[Faint, illegible handwriting on the right page]